



## 「防災についてのアンケート」まとめ①

東日本大震災(以下東日本)で津波の恐ろしさを知り、熊本地震(以下熊本)では直下型地震の恐ろしさをあらためて突き付けられた。耐震設計基準も見直さねばならないほど頻繁な揺れは、防災意識を変えたのではないだろうか。

### <東日本後と熊本後に見る、防災意識の変化>

東日本後に既婚女性にとったアンケートでは「震災後、防災意識が高くなった」と答えた割合は84.4% だったが、今回の熊本後も63.3%に上った。36.6%の「特に変化なし」と答えた人たちには、「東日本で十分に高まったので」という回答が多かった。

「熊本後にあらためて自分の家について不安を感じるようになったもの」は、今回被害が大きかった「家屋の倒壊」が68.7%とダントツに。

東日本前と比べ、熊本前に「水や食料品などの備蓄」「自宅周辺の避難所」を準備確認していた割合が高いのは、やはり東日本でかなり意識が高まったからだと考えられる。それでもこの2項目以外は、まだまだ半数以下が準備確認出来ていない状態。

### <準備しなければと思いつつできていないこと>

熊本後、準備しなければと思いつつ出来ていない筆頭は、「家具や家電の固定」。費用と効果を考えると面倒だというのが先に立つ、象徴的な分野なのだろう。水や食料の備蓄は、熊本前でも6割が用意し、地震後改めて5割近くが備蓄し、さらに準備しなければと思う人が35%に上る、最も準備しやすい分野。「常備蓄」という言葉も一般的になりレシピなども出るようになっただけはある。家族全員分の3日分~7日分を目安とした非常食を備蓄している家庭は、全体の48.8%に上った。

### <想定している被災時の連絡手段>

被災時の家族や友人との安否確認に想定している手段は、「携帯電話でのメール」「携帯電話での通話」「災害用の各種伝言サービス」がトップ3。年代別で見ると、20代以下に「LINE」の割合が高く62.0%(60代以上の13.7%と比べると5割近い差がある)。「Facebook」「Twitter」も20代以下に多かった。



## 「防災についてのアンケート」まとめ②

### <自分の住まいの状況確認や危険意識>

地震予測地図やハザードマップなどで自分の住まいの状況を確認した人の割合は、「熊本前に確認した」36.7%、「熊本後に確認した」22.5%。「地震や津波被害を考えると引っ越しを検討している」という声は15.7%にとどまるものの、自分が住む地域を「とても危険orやや危険」だと感じている人は4割弱にも上る。

### <防災訓練の参加状況や、耐震診断・耐震工事への関心>

防災訓練への参加率は、「毎回参加している」「時々参加している」合わせて17.9%と全体的に低め。

自分の住まいが1981年施行の新耐震基準を満たしているかどうかについても、「たぶん満たしていると思うが自信がない」「わからない」合わせて43.5%と心もとない。耐震診断や耐震工事について、「すでに済ませている」は27.7%、「やっていないが関心がある」は55.3%。耐震診断・耐震工事は若い世代ほど関心が高く、20代では7割が関心があると回答した。

### <自治体による耐震補助の認知度、行政からの防災情報の満足度>

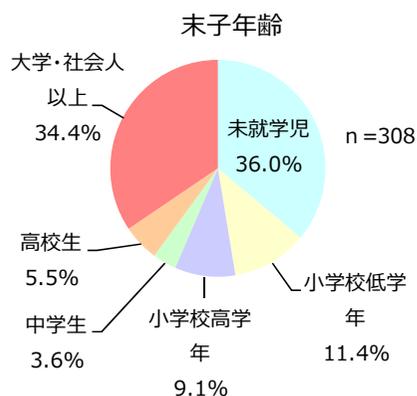
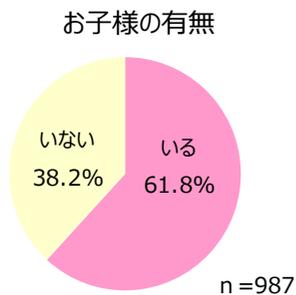
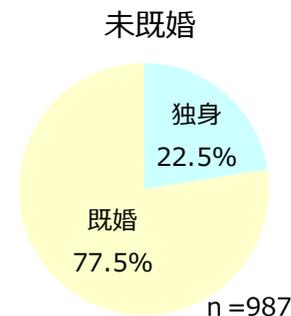
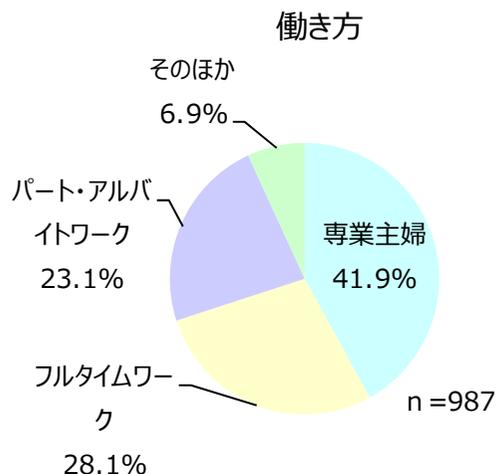
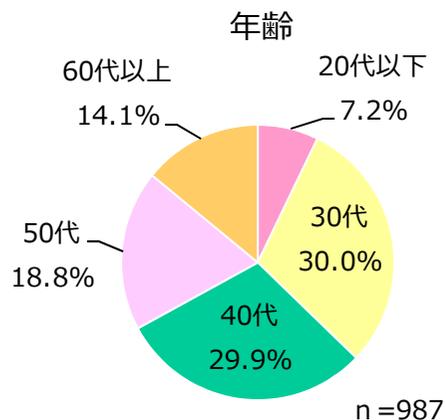
自治体が、耐震診断や耐震改修に対して補助を出しているのを「よく知っている」は13.0%。「聞いたことがある程度」や「知らない」人がほとんどだ。行政からの防災情報については、「不足している」という声が65.1%にも上った。

### <熊本後の心境の変化>

熊本後の心境の変化を自由に回答してもらったところ、家があっても帰れない状態になることは想定外だったとする人が多く、車の中にも常備しよう、マイホームも善し悪しだといった声が散見された。またテントなどのキャンプ用品を買った人も多く、備えの方向性にも変化がみられる。



# 「防災についてのアンケート」 回答者プロフィール

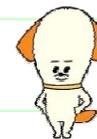


## 【居住地】

No.	居住地	n	%
1	北海道	18	1.8
2	青森県	1	0.1
3	岩手県	1	0.1
4	宮城県	14	1.4
5	秋田県	2	0.2
6	山形県	0	0.0
7	福島県	7	0.7
8	茨城県	5	0.5
9	栃木県	3	0.3
10	群馬県	5	0.5
11	埼玉県	62	6.3
12	千葉県	71	7.2
13	東京都	234	23.7
14	神奈川県	105	10.6
15	新潟県	2	0.2
16	富山県	0	0.0
17	石川県	5	0.5
18	福井県	2	0.2
19	山梨県	3	0.3
20	長野県	0	0.0
21	岐阜県	5	0.5
22	静岡県	12	1.2

No.	居住地	n	%
23	愛知県	59	6.0
24	三重県	4	0.4
25	滋賀県	5	0.5
26	京都府	12	1.2
27	大阪府	143	14.5
28	兵庫県	108	10.9
29	奈良県	7	0.7
30	和歌山県	3	0.3
31	鳥取県	0	0.0
32	島根県	0	0.0
33	岡山県	7	0.7
34	広島県	14	1.4
35	山口県	0	0.0
36	徳島県	0	0.0
37	香川県	8	0.8
38	愛媛県	12	1.2
39	高知県	0	0.0
40	福岡県	22	2.2
41	佐賀県	1	0.1
42	長崎県	1	0.1
43	熊本県	16	1.6
44	大分県	2	0.2
45	宮崎県	0	0.0
46	鹿児島県	4	0.4
47	沖縄県	2	0.2
	不明	0	0.0
	全体	987	100.0

リビングくらしHOW研究所は女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。  
あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。  
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp/> 問い合わせ TEL 03-5216-9420 FAX 03-5216-9430

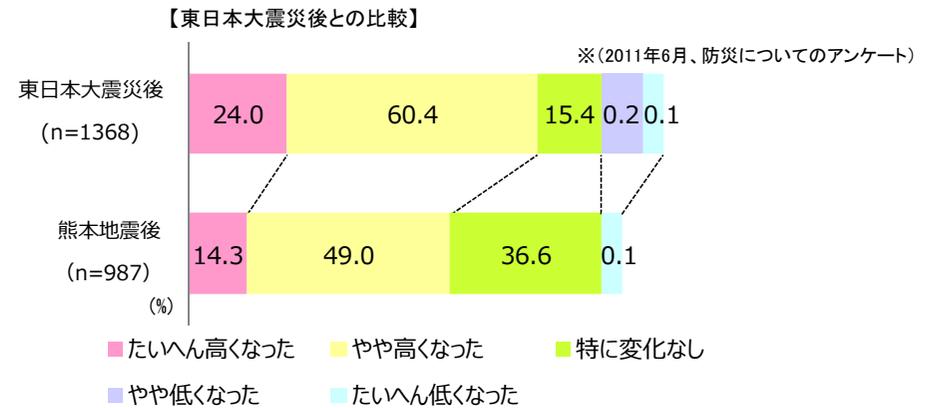
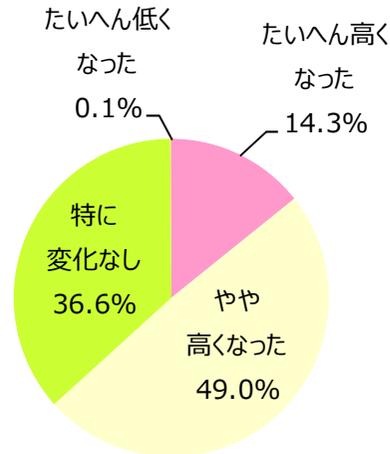


## 【設問一覧】

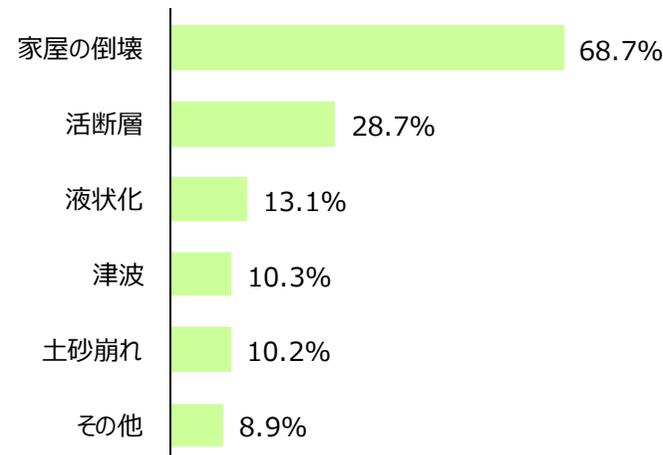
- Q1. あなたやあなたの家族の防災に対する意識は、熊本地震後、変化しましたか？
- Q2. 熊本地震後、大地震などが起こった際の被害で、あらためて、自分の家について不安を感じるようになったものは？
- Q3. 熊本地震が起こる以前、災害対策として、あなた自身や家族が、すでに確認・準備していたものは？
- Q4. 熊本地震後、あなたやあなたの家であらためて確認・準備したものは？
- Q5. 熊本地震後、地震について、あなたの考えや備えで変えたことはありますか？
- Q6. 災害発生後、自宅で生活できるように自助で3日分~7日分を目安とした非常食を備蓄することが推奨されていますが、あなたの家庭では、家族全員分の3日分~7日分を目安とした非常食を備蓄していますか？
- Q7. 災害対策として、あなた自身や家族が、確認・準備しなければと考えているものの、まだ行っていないことは？
- Q8. Q7で選択したことを、確認・準備しなければと考えているものの、まだ行っていないのはなぜですか？理由を教えてください。
- Q9. 被災時のご家族やご友人との安否確認には、どのような手段を活用することを想定していますか？
- Q10. あなた自身やあなたの家族が、日ごろから準備している「防災グッズ」をいくつでも選んでください。
- Q11. 熊本地震後、地震予測地図やハザード(防災)マップなどで自分の住まいの状況を確認しましたか？
- Q12. 自分が住む地域は、災害に対して安全だと思いますか？
- Q13. 地震や津波被害を考慮して、引っ越しを検討していますか？
- Q14. Q13で「今すぐにも引っ越しを検討したい」「この数年以内に引っ越しを検討したい」「10年くらい後には引っ越しを検討したい」と答えた方、引っ越し先はどのあたりを検討していますか？都道府県名で教えてください。また、その場所を候補にしている理由を教えてください。
- Q15. 自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したことがありますか？
- Q16. Q15で「参加したことがあるという程度」「参加していない」「防災訓練が行われていることを知らない」と答えた方、今後、自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したいと思いますか？
- Q17. 現在の住居は、1981年(昭和56年)施行の新耐震基準を満たしていますか？
- Q18. 耐震診断・耐震工事について、関心がありますか？
- Q19. 自治体が、耐震診断や耐震改修に対して、補助を出しているのを知っていますか？
- Q20. 行政からの、防災に関する情報は、十分だと思いますか？
- Q21. もし身近で大地震が起きたら、一番心配していることはなんですか？教えてください。



Q1. あなたやあなたの家族の防災に対する意識は、熊本地震後、変化しましたか？



Q2. 熊本地震後、大地震などが起こった際の被害で、あらためて、自分の家について不安を感じるようになったものは？

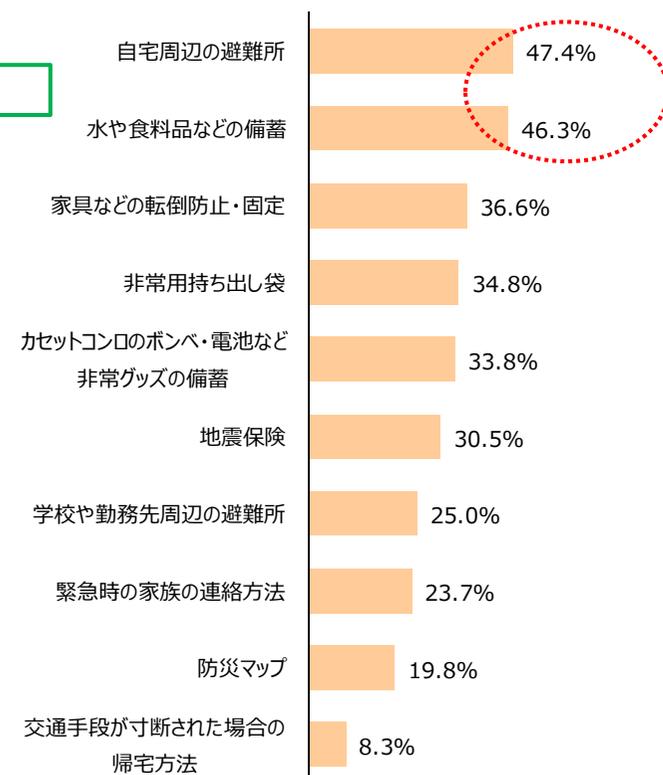
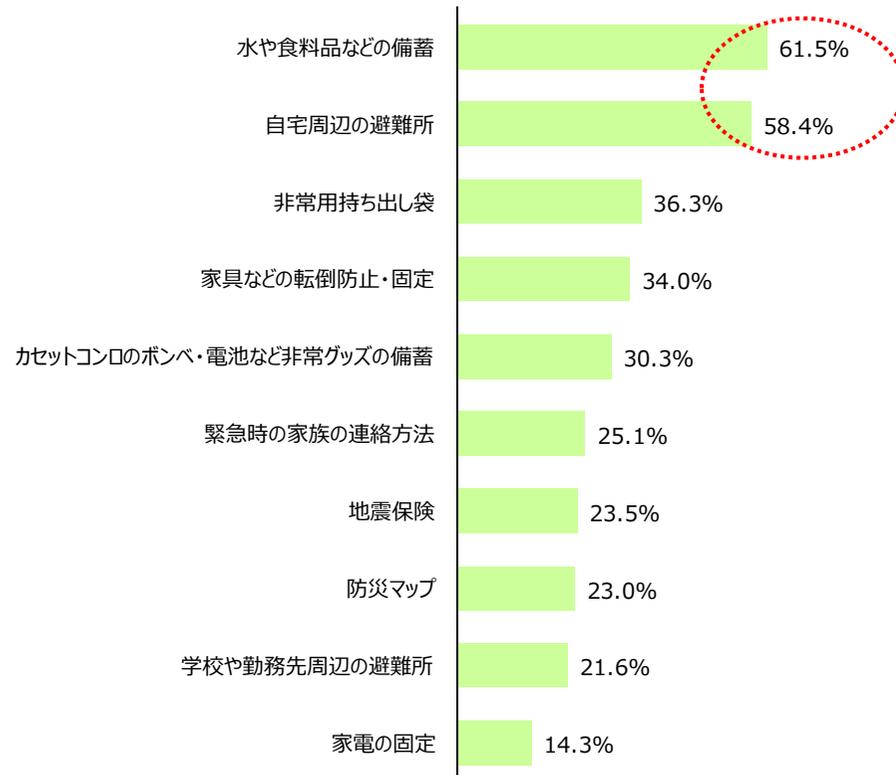




Q3. 熊本地震が起こる以前、災害対策として、あなた自身や家族が、  
すでに確認・準備していたもの 上位10項目

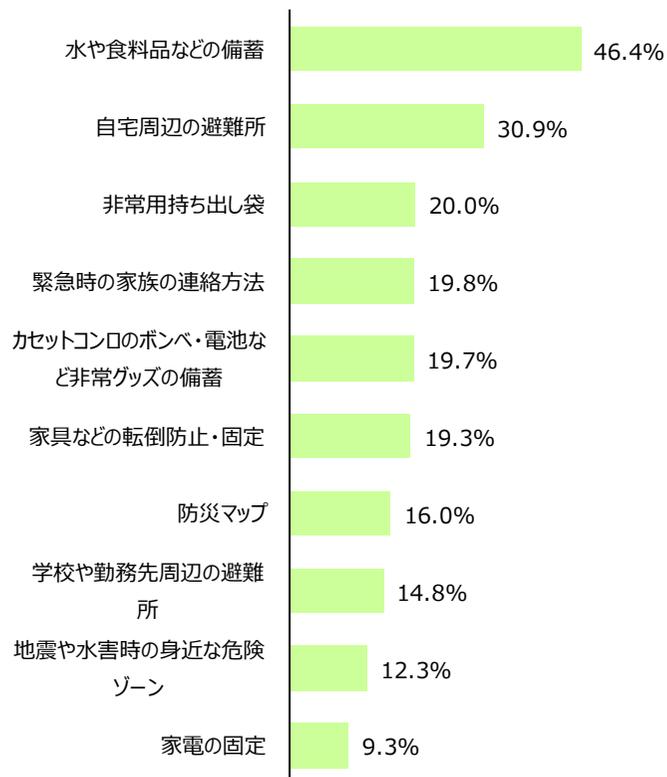
東日本大震災が起こる前に  
既に準備していたもの 上位10項目  
(n=1286)

※(2011年6月、防災についてのアンケート)



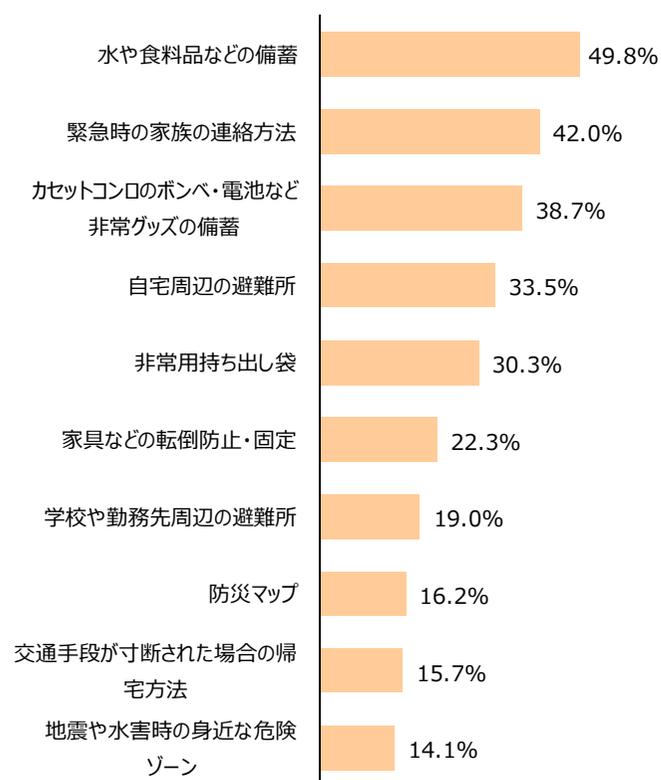


Q4. 熊本地震後、あなたやあなたの家であらためて  
確認・準備したものは？ 上位10項目



東日本大震災後、あらためて準備したものの  
上位10項目(n=1252)

※(2011年6月、防災についてのアンケート)



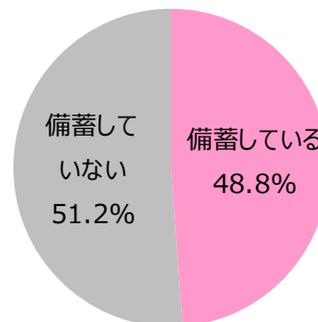


Q5. 熊本地震後、地震について、あなたの考えや備えで変えたことはありますか？

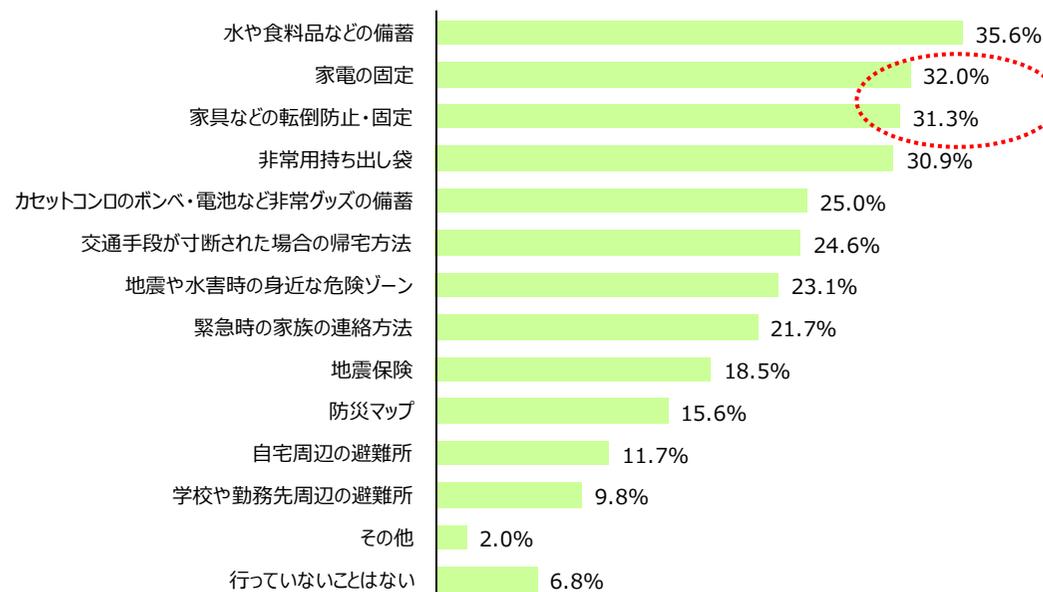
年齢	都道府県	働き方	あなたの考えや備えで変えたこと
33	熊本県	専業主婦	<u>自宅の押し入れの奥に入れておいた備蓄品や災害時用の持ち出しものを、車の中に常備するようになりました。</u> 知人は家具が倒れたり家屋が倒壊して、用意していたものを持ち出せなくなってしまったからです。また、いつまた大きな揺れがくるか分からない時に、自宅に取りに戻るのはとても怖かったからです。
50	埼玉県	パート・アルバイトワーク	断水や電気など地震直後はなかなか復旧が難しいようなので3、4日分の水、食料や電池などの確保、また簡易トイレの用意もしました。
28	愛知県	フルタイムワーク	子どもが産まれたばかりなので、子どもの備えを今回の震災を参考に作り直しました。おむつ、ミルク等のストックの持ち方を見直しました。
38	東京都	パート・アルバイトワーク	震度7の地震が何度も来る事があるということ。余震があんなにも何度も来るという事を知り、家の中で寝るのも怖いなと思い、 <u>テントや寝袋など用意して庭などで野宿する用意をしておくと思っています。</u>
34	神奈川県	フルタイムワーク	リュックに入れている備蓄品の賞味期限が切れていることも多々あるので、こまめに見直すことと、普段使いできるストック品もキッチンや納戸に置くようにした。
31	熊本県	フルタイムワーク	高いところに飾っていたものは危険度を再確認し、危ないものは上に置かないようにしました。今回の熊本地震を実際経験して、地震での家屋の倒壊も困りましたが、地震後、ライフラインの復旧に時間がかかり断水が続いたのがとにかく大変でした。備えがなかったので水の確保と水なしでも食べられる保存食の見直しをしました。
56	東京都	パート・アルバイトワーク	<u>自宅マンションは倒壊しないと思っていたが、倒壊の危険もある。</u> その際は避難をしなくてははいけない。避難場所はじゅうぶんな数がないので、 <u>テントなど用意したほうがいいのかと考えている。</u>
31	愛知県	専業主婦	きちんと家族分の非常持ち出しリュックとヘルメットを用意しました！小さな子供がいるのでいざという時が不安ですが、家族を守れるよう準備はしておこうと実行しました。
45	大阪府	フルタイムワーク	熊本地震では、大きなゆれが何度も起こったので、 <u>これまで耐震基準を満たした家屋に住むことで安心していた部分があったのですが、もし倒壊したらどうしようかな？という不安が生まれました。</u> 地震保険の内容をもう少し精査しようと思っています。
32	東京都	フルタイムワーク	東日本大震災以降に持ち出し用のリュックを準備しているが、中身の点検をやっていたなかったので、実施した。乾パンや水は賞味期限が迫っていたり、切れていたのを、入れ替えた。また、その頃よりも子どもが増えているので、容量も見直した。
69	大阪府	専業主婦	築90年の実家の改装。耐震補強を重要課題として設計士さんに依頼し、基礎の補強と、壁の増強を中心に検討しています。
38	東京都	フルタイムワーク	熊本に住む友人の自宅が全壊しました。その友人からのすすめで <u>テントを購入しました。</u>
40	奈良県	パート・アルバイトワーク	暑い季節や寒い季節など、その時の気候によって必要な物も変わってくるので、季節ごとの準備が必要だと思った。
36	香川県	そのほか	ペット(犬)がいるので、避難時の対応策。リュックサックタイプのキャリーケースに変更。防災グッズの追加。
64	福岡県	フルタイムワーク	<u>車やキャンプ用品が意外と役立つのだと感じた。</u>
37	神奈川県	そのほか	今まで備えていたものの再確認。食料等の賞味期限等。持病があるので非常持ち出し袋には薬は入れていたが普段からカバンの中に入れても持ち歩くようになった。お薬手帳も同様。



Q6. 災害発生後、自宅で生活できるように自助で3日分~7日分を目安とした非常食を備蓄することが推奨されていますが、あなたの家庭では、家族全員分の3日分~7日分を目安とした非常食を備蓄していますか？



Q7. 災害対策として、あなた自身や家族が、確認・準備しなければと考えているものの、まだ行っていないことは？





Q8. Q7で選択したことを、確認・準備しなければと考えているものの、まだ行っていないのはなぜですか？理由を教えてください。

年齢	都道府県	働き方	水や食料品などの備蓄/理由
46	愛知県	パート・アルバイトワーク	賞味期限切れの物を今、食べて消化してるから買ってない。
35	兵庫県	そのほか	備蓄の保管場所をまだ確保していないから。
38	石川県	専業主婦	備蓄を保管するスペースが限られている事に加えて、どういったものを備蓄食材として保管しておく方が良いのかがよく把握できていないから。
年齢	都道府県	働き方	家電の固定/理由
46	大阪府	フルタイムワーク	やりやすいものはやったけど、テレビとかどうしていいかわからずほったらかしです。
33	北海道	専業主婦	家電の固定・・・大きくて重たいので自分では難しいと感じて。
35	大阪府	専業主婦	家電までは中々固定出来ない。特に普段から使う調理家電は難しくて悩みます。
年齢	都道府県	働き方	家具などの転倒防止・固定/理由
40	愛知県	フルタイムワーク	アパートなので、壁に打ち付けるわけにはいかないのと、ある程度の費用が掛かるので。
41	東京都	パート・アルバイトワーク	固定の仕方では意味のない固定になるようなので、どのようにやったらいいのか、どの方法が正しいのかがわからない。
年齢	都道府県	働き方	非常用持ち出し袋/理由
55	福岡県	パート・アルバイトワーク	通帳など貴重品のとりまとめがまだ十分でないが、まとめ置くのも盗難を思うと心配。
60	神奈川県	フルタイムワーク	非常用持ち出し袋の中身が決めかねている為。
年齢	都道府県	働き方	カセットコンロのボンベ・電池など非常グッズの備蓄/理由
47	千葉県	パート・アルバイトワーク	カセットコンロはかさばるし価格が高いから。
52	東京都	フルタイムワーク	電池は、長期間保管すると、放電するので。

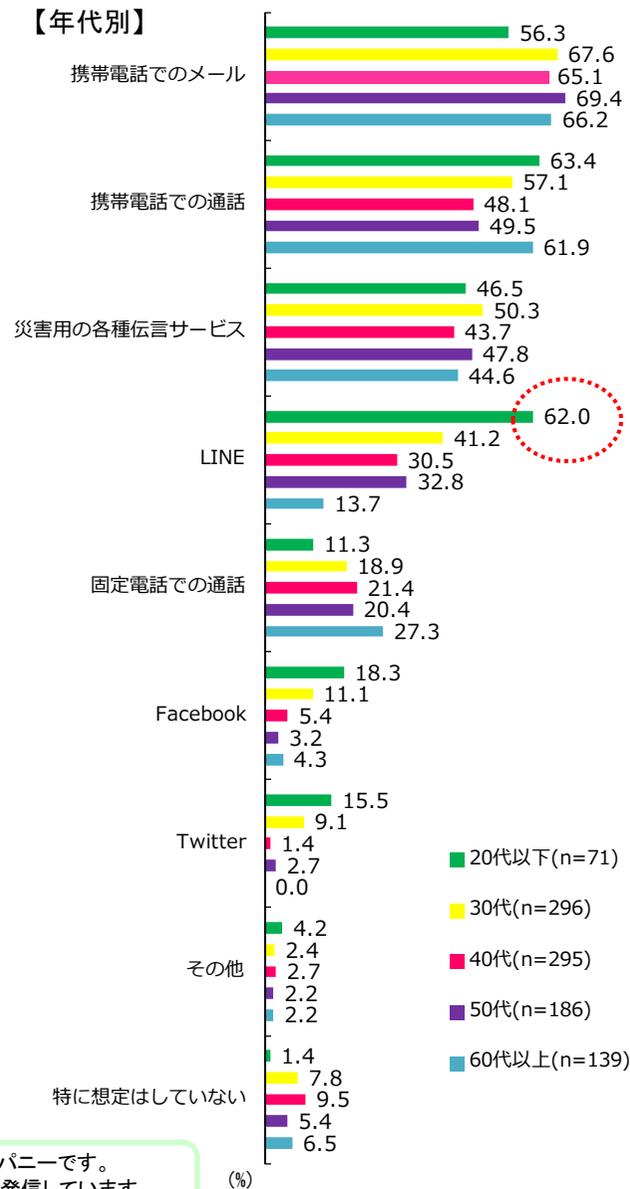
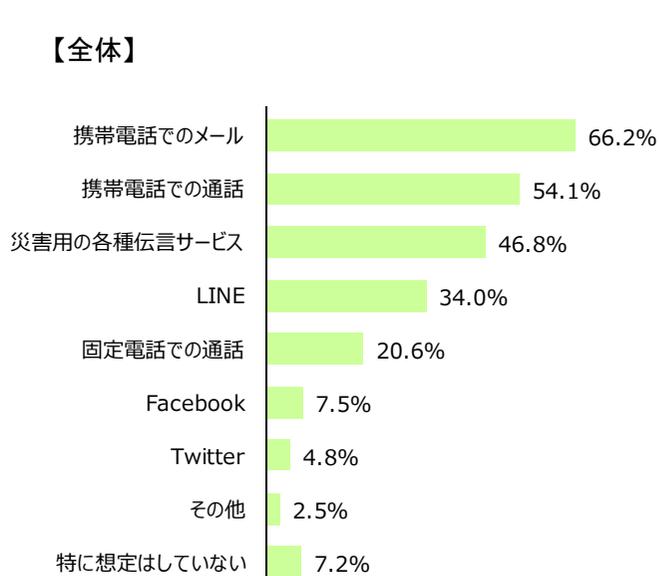


Q8. Q7で選択したことを、確認・準備しなければと考えているものの、まだ行っていないのはなぜですか？理由を教えてください。

年齢	都道府県	働き方	交通手段が寸断された場合の帰宅方法/理由
41	東京都	専業主婦	基本的には家の近所にいるので、遠出した場合の事は考えていなかったから。
30	千葉県	専業主婦	主人の職場から自宅までが遠く、安全な帰宅ルートを選ぶには実際地震が起きてからでないと判断しにくいから。
年齢	都道府県	働き方	地震や水害時の身近な危険ゾーン/理由
55	埼玉県	専業主婦	近所に明らかな断層や川などがあるわけではないので、真剣に考えてこなかった。また、夫婦二人暮らしなので、職場にいる主人と別々に避難することになってあまり困らないのでは？などと、楽観的に考えていたから。
45	東京都	そのほか	どういう地図などを見ればよいかわからない
年齢	都道府県	働き方	緊急時の家族の連絡方法/理由
31	愛知県	専業主婦	家族できちんと話し合っていない。携帯がつかないと連絡がとれない。
54	神奈川県	パート・アルバイトワーク	緊急伝言板をどのように利用すれば良いか理解ができていない。
年齢	都道府県	働き方	地震保険/理由
56	熊本県	パート・アルバイトワーク	地震保険でどのくらいまで保証されるのか、まだ把握できていないので。
55	神奈川県	専業主婦	地震保険は、ほとんど掛け捨てになるので余裕がないとむずかしい。
年齢	都道府県	働き方	防災マップ/理由
63	東京都	専業主婦	区からの防災マップなど仕舞い込んでしまっていて、面倒という気持ちがある。
年齢	都道府県	働き方	自宅周辺の避難所/理由
47	神奈川県	専業主婦	いつかやろうと思いつつ、いついつ後回しになってしまう。
年齢	都道府県	働き方	学校や勤務先周辺の避難所/理由
33	茨城県	パート・アルバイトワーク	子どもはまだいないし、基本自分は家にいるし、主人の勤務先なら最悪歩いて帰ってこれるかなと思ってたので。でも、調べておけば不安はなくなるのできちんとやります。



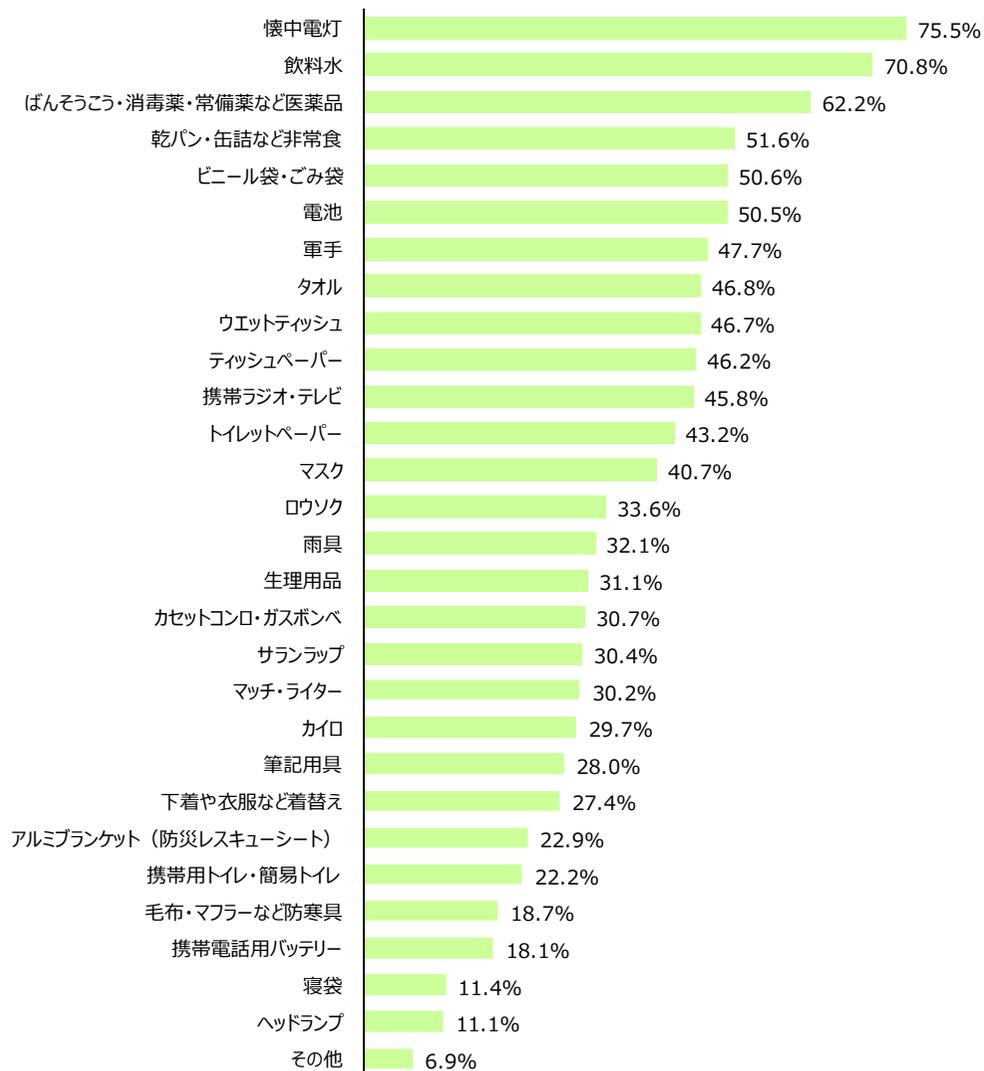
Q9. 被災時のご家族やご友人との安否確認には、どのような手段を活用することを想定していますか？



リビングくらしHOW研究所は女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。  
あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。  
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp/> 問い合わせ TEL 03-5216-9420 FAX 03-5216-9430



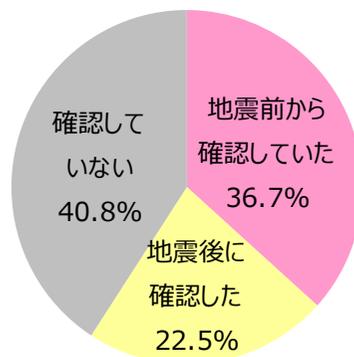
Q10. あなた自身やあなたの家族が、日ごろから準備している「防災グッズ」をいくつでも選んでください。



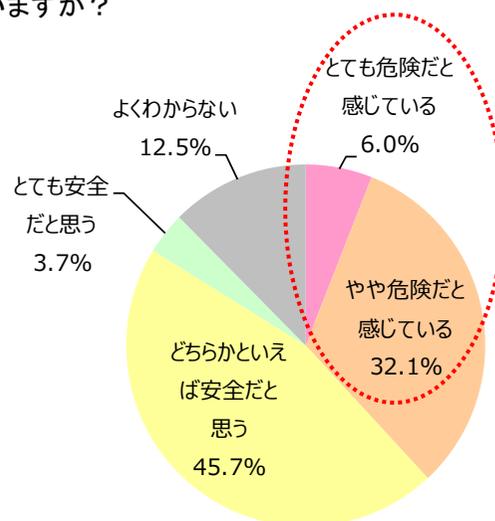
リビングくらしHOW研究所は女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。  
あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。  
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp/> 問い合わせ TEL 03-5216-9420 FAX 03-5216-9430



Q11. 熊本地震後、地震予測地図やハザード(防災)マップなどで自分の住まいの状況を確認しましたか？

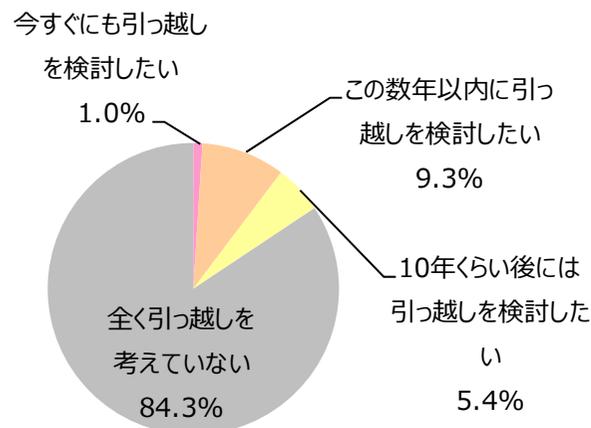


Q12. 自分が住む地域は、災害に対して安全だと思いますか？





Q13. 地震や津波被害を考えると、引っ越しを検討していますか？

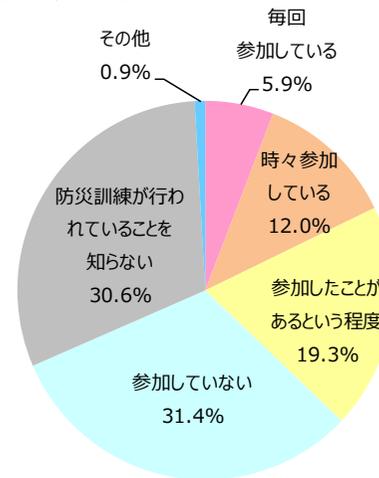


Q14. Q13で「今すぐにも引っ越しを検討したい」「この数年以内に引っ越しを検討したい」「10年くらい後には引っ越しを検討したい」と答えた方、引っ越し先はどのあたりを検討していますか？都道府県名で教えてください。また、その場所を候補にしている理由を教えてください。

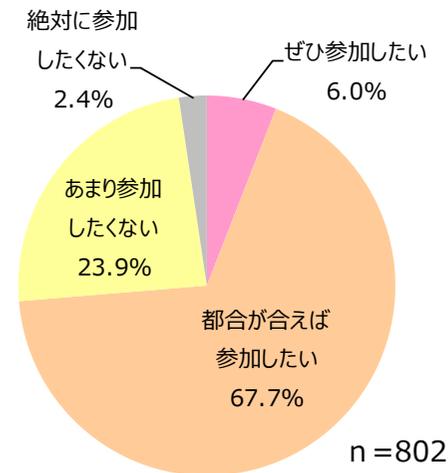
年齢	都道府県	働き方	検討している都道府県名	理由
33	埼玉県	フルタイムワーク	東京都	通勤にも便利だし、災害時の情報も入ってきやすそうで、色々なサポートも受けやすそうだから。
41	静岡県	フルタイムワーク	栃木県 埼玉県 東京都	両親が関東圏内に住んでいるから。
47	愛知県	専業主婦	北海道	地元で親・兄弟がいるし、気持ち的に安心出来るからです。
27	東京都	フルタイムワーク	山梨	実家なので。都内はビルばかりで怖い。
38	大阪府	フルタイムワーク	奈良県	津波の心配がないので。
31	愛知県	パート・アルバイトワーク	富山県	地震が少なく自然災害も多くない。また、実家があるのでできればゆくゆくは富山県に移りたい。
33	東京都	フルタイムワーク	岡山県	地震が少ない(活断層が少ない)。四国と内海があるので津波の被害が少ない。気候が温暖。山陽新幹線で大阪、東京へのアクセスが便利。



Q15. 自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したことがありますか？

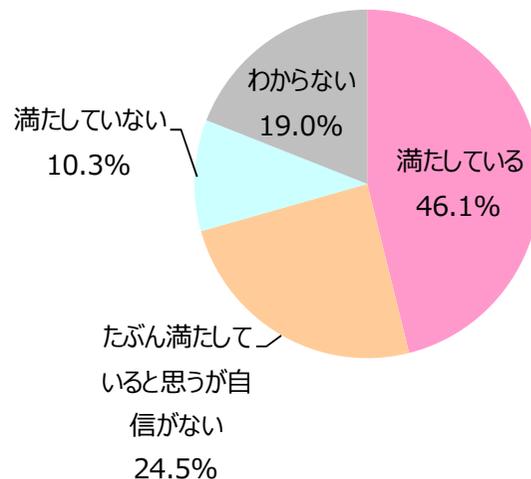


Q16. Q15で「参加したことがあるという程度」「参加していない」「防災訓練が行われていることを知らない」と答えた方、今後、自治体や町内会などが実施する防災訓練に参加したいと思いませんか？

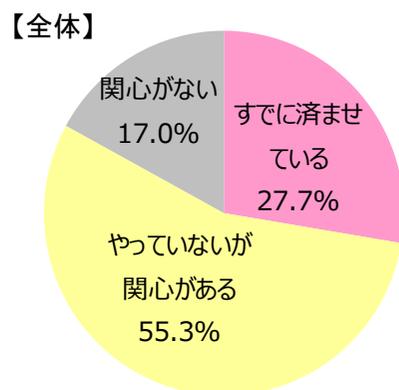




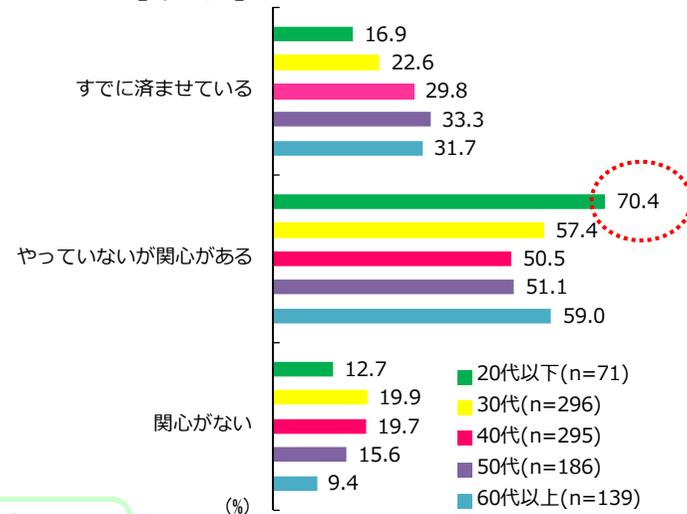
Q17. 現在の住居は、1981年(昭和56年)施行の新耐震基準を満たしていますか？



Q18. 耐震診断・耐震工事について、関心がありますか？



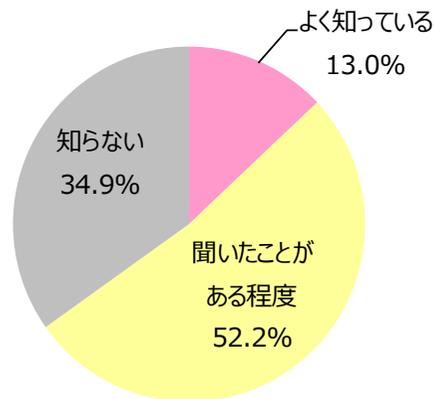
【年代別】



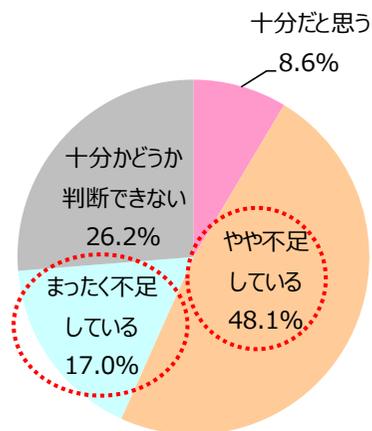
リビングくらしHOW研究所は女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。  
あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。  
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp/> 問い合わせ TEL 03-5216-9420 FAX 03-5216-9430



Q19. 自治体が、耐震診断や耐震改修に対して、補助を出しているのを知っていますか？



Q20. 行政からの、防災に関する情報は、十分だと思いますか？





Q21. もし身近で大地震が起きたら、一番心配していることはなんですか？教えてください。

年齢	都道府県	働き方	一番心配していること
31	東京都	そのほか	避難生活の長期化。他人と一緒にいることのストレス。
36	兵庫県	パート・アルバイトワーク	裏の小さな崖が崩れないか、のり面がずれないか。立体駐車場が崩れてこないか。
39	東京都	フルタイムワーク	子供とペットと一緒にスムーズに避難できるかどうか。また賃貸住宅なので耐震性がどれだけあるか不安。
45	愛知県	そのほか	老齢の両親と住んでいるので、精神面体力面でフォロー出来るかどうか不安。
44	東京都	パート・アルバイトワーク	家族の安否確認、また震災後の生活がどのようなものかによりますが、トイレや避難所での共同生活が心配です。
60	愛知県	専業主婦	夜中など寝ている時に起きたら非難するのに時間もかかるし、逃げ遅れないかなど心配にはなる。
46	岐阜県	パート・アルバイトワーク	父親が透析をしているので、病院へ行けるかどうか心配。
35	北海道	専業主婦	水がでなくなったり、冬場の寒さの中ストーブがつかなくなったら、と心配しています。自宅にいれなくなり避難所に身を寄せた場合、子供がいるので周りの方に迷惑をかけないか不安です。
33	福岡県	フルタイムワーク	子どもの世話、ケア。自分が災害対応のため出勤しなければならない可能性が高いため。
40	東京都	フルタイムワーク	日中だと家族全員バラバラの場所にいるので安否が心配です。特に下校時間以降、親が帰宅するまでの空白時間の間に発生したばあい、小学生の息子の安否と行動が気になります。
46	千葉県	パート・アルバイトワーク	津波や液状化と家屋の倒壊、家族との連絡できるかどうか。
33	熊本県	専業主婦	家屋の倒壊。中古住宅を購入したが耐震診断はしておらず、購入後も気になっているがいまだできていない。今回の地震で壁にひびが入っているので近々したい。
46	東京都	専業主婦	水道、電気、ガス等のライフラインの停滞、精神的ダメージ。
39	東京都	フルタイムワーク	家族の安否、離れているから。東北の震災のときも停電してしまっていたので、連絡が1週間は取れなかったし電車も不通のため、行くこともできなかった。
34	大阪府	フルタイムワーク	連絡が取れなくなって孤立する事。
36	広島県	フルタイムワーク	マンションの中間なので、どう逃げたら良いのか、津波なら一番高い場所へ逃げようと思うが、地震で家自体が倒壊したら逃げる時間が無かったらどうしようかと不安になる。



Q21. もし身近で大地震が起きたら、一番心配していることはなんですか？教えてください。

年齢	都道府県	働き方	一番心配していること
41	和歌山県	専業主婦	海が近いので津波被害と、主人が漁業をしているので地震発生時の安全面と船の被害。
44	大阪府	パート・アルバイトワーク	食糧などの購入で、みんながパニックになることです。
44	愛知県	フルタイムワーク	夫婦共稼ぎで、平日の昼間に大地震がおきたとき、子供をすぐに迎えにいけないことが心配。
29	神奈川県	専業主婦	今までは、自分の身を守ることを心配をしていたが、母の実家が全壊になり、補助金や避難所の安全性、住民に対しての適切な広さの避難所なのか、市や区に備蓄は、どれくらいあるか特に水はどのように供給するのかなど地震が実際起こった時どう対応するのかが実際に起こらないとわからないので不安です。
32	兵庫県	専業主婦	猫を飼っているので、猫の安全が心配。家族同然なので。
50	京都府	フルタイムワーク	親や夫の持病の悪化を心配しています。毎日飲んでいる薬はどのように手に入れようかと思ったり…。かかりつけの病院で診てもらえるのが一番なんです。
65	大阪府	専業主婦	単身の高齢者宅が多いので、無事非難できるか？
46	熊本県	フルタイムワーク	飼っているペットと一緒に避難できる場所があるかどうか不安。
52	東京都	専業主婦	夫と連絡が取れるか？別に暮らす高齢両親の無事を確認できるか？トイレ(排泄物)の処理。
25	大阪府	フルタイムワーク	自分が工作中や外出中だった時、非常食等は持ち歩いていないためどうすれば良いのかと心配。
34	兵庫県	専業主婦	幼い子供達を連れて避難生活が送れるかどうか。精神的、体力的にかなり不安がある。
37	東京都	フルタイムワーク	障害児を連れての避難。
31	北海道	パート・アルバイトワーク	孤立して物資が届かないこと。
39	兵庫県	パート・アルバイトワーク	できれば遠方に避難したいので、交通網が破壊されないどうか心配。
40	愛知県	フルタイムワーク	一人暮らしなので、家屋の倒壊の時に中にいることに気づかれないこと。